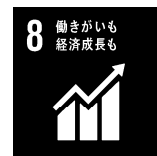


地元企業×若者を結ぶ「KNOT_」キックオフイベント
選ばれ続けるまちとは？を問う、パネルディスカ
ッションを開催します



ターゲット 8.3

2026 年 9 月 25 日

郡山市農商工部

産業雇用政策課

課長 若穂 豊

TEL：924—2258

SDGs ターゲット 8.3 「中小零細企業の設立や成長を奨励する」

郡山市が今年度新たに取り組む、地元企業と首都圏の若者をつなぐプロジェクト「KNOT_（の
っと）」の参加者募集に先立ち、郡山市が選ばれるまちであり続けるために、「選ばれ続けるまち
とは」を共通の問いに、選ばれる側と選ぶ側、それぞれの視点でディスカッションをするキック
オフイベントを開催します。

1 日 時 10月3日（土） 13時～15時30分

2 会 場 郡山市役所 本庁舎2階 特別会議室（オンライン参加可能）

3 申 込 以下のリンク又は二次元コードからお申込みください。当日参加も可能です。

<https://koriyama-knot.jp/event/1003>



4 内 容 選ばれる側、選ぶ側、それぞれの視点から「選ばれ続けるまちとは？」を話すパネ
ルディスカッション、事業に参画する企業のプロジェクト紹介、交流会を行います。

5 登壇者 パネルディスカッション第1部

選ばれる側 ー選ばれる側は何を目指して進むべきかー

行政・シンクタンク・民間企業の異なる立場の3名が、それぞれの視点から郡山が
選ばれるまちであり続けるために、郡山のこれまでとこれからのビジョンを話します。



郡山市長
椎根 健雄

2025年4月、第15代
郡山市長に就任。



一般財団法人とうほう地域総合研究所
理事長
矢吹 光一 氏

東邦銀行の創立40周年を機に1982年に
設立された、福島県の経済・産業を調査
研究するシンクタンクを率いる。



株式会社うすい百貨店
取締役兼経営企画部長
薄井 仁郎 氏

1662年の創業から360年あまり、福島県
で唯一の百貨店として郡山の中心市街地
に立つ。その経営の方針づくりを担う。

パネルディスカッション第2部

選ぶ側 ―選ぶ側から見た地方のポテンシャルと希望とは―

首都圏に拠点を置く3名が、首都圏から地方がどう見えているのか、どんな地域が企業や若者にとって魅力的に見えるのかを話します。



株式会社 PeopleX
代表取締役 CEO
橋 大地 氏

弁護士ドットコムで電子契約「クラウドサイン」の事業責任者・取締役を務め、2024年にPeopleXを創業。AIによる採用面接・人事評価サービス協議会 代表理事。



八千代エンジニアリング株式会社
事業開発本部副本部長兼開発推進部部長
植田 大造 氏

国土交通省のプロジェクトで水管理・国土保全に携わり、技術開発・経営企画の部門を経て2021年から新規事業の創出を担当。ネイチャーポジティブなどサステナビリティ領域に注力する。技術士（建設部門）。



NPO 法人 ETIC.
ローカルイノベーション事業部事業部長
伊藤 淳司 氏

1997年からETICに参画し、日本初の長期実践型インターンシップの立ち上げに携わる。これまで1000社以上で、外部人材を活かした新規事業づくりを支援。福島12市町村の起業家創出プログラムも担当する。早稲田大学MBA。立教大学・横浜国立大学 経営学部 非常勤講師。

6 スケジュール

時間	内容
13:00～13:10	オープニング(郡山市長挨拶、事業説明)
13:10～13:50	パネルディスカッション第1部 選ばれる側 ―選ばれる側は何を目指して進むべきか―
14:00～14:40	パネルディスカッション第2部 選ぶ側 ―選ぶ側から見た地方のポテンシャルと希望とは―
14:40～14:50	参画企業紹介 KNOT_に参加する企業と、各社のプロジェクトをご紹介
14:50～15:30	ネットワーキング

<郡山市若者による地域資源リノベーション促進事業「KNOT_」とは>

郡山市内の地元企業と、若者(主に首都圏の大学生)を結び、経営者が思い描く「やりたいこと」に対し、若者が自らのアイデアを提案することで、経営者と若者が新たなプロジェクトに挑戦します。

令和8年度は参画企業約20社と、プロジェクトに参加したい若者のマッチングを実施。12月に実施する郡山市での企業との交流とアイデアソンを経て、令和9年3月に若者が自身のアイデアを企業に対しプレゼンする予定です。

プログラムの詳細は以下のURLもしくは二次元コードからご確認ください。

<https://www.fnet-k.com/>

